



# 自民党・無所属 大阪府議団だより

## おく だ 奥田えつお議員 が府議会で一般質問



泉大津市・高石市  
及び泉北郡選出

「子どもの貧困」に心を痛める奥田悦雄議員は10月7日、府議会の本会議で初めての一般質問に立ち、「子どもの貧困対策」の取り組みについての見解を求め、浜寺公園に対する提案や芦田川の整備の進捗状況などをも問い正しました。

### プロフィール

昭和30年5月 高石市生まれ。昭和53年3月 近畿大学商経学部卒。平成7年4月 高石市議会議員初当選、平成15年 市議会副議長、平成20年、平成25年 市議会議長。近畿大学校友会常任幹事、近畿大学校友会泉大津・高石支部顧問、高石市少年軟式野球協会副会長、高石市柔道連盟名誉会長。平成27年4月 大阪府議会議員初当選(選挙区 泉大津市・高石市及び泉北郡)。健康福祉常任委員会委員。



## 子どもの貧困対策

### 「子どもの生活に関する実態調査」

#### 貧困の実態把握の調査内容は？

**Q. 奥田議員** 平成24年の調査(\*)では「子どもの貧困率」は16.3%と6人に1人が貧困状態に陥ることになり、実態を把握する取り組みが進められている。大阪府においても「子どもの生活に関する実態調査」を実施しているが、この調査において、どういうことがわかるのか。また、府民にわかりやすいデータが必要と考えるが、どのような対策を考えているのか。

(※厚生労働省が実施の国民生活基礎調査)

[2016年10月11日 日本経済新聞]



**A. 福祉部長** 府の調査は、家計の収支状況、子どもの将来の希望や健康状態、相談先など、子どもや保護者が直面する課題の把握を目的とするもの。所得に関しては国民生活基礎調査のような詳細内容は求めていないが、府独自の貧困線と貧困層の割合が示せないかなど、検討している。そのほか、所得の状況と子どもの食事の頻度や学習状況など、クロス集計する予定であり、こうしたデータを示し、課題への効果的な取り組みを検討しております。

### 民間が取り組む「子ども食堂」へ支援を!

#### 「子ども食堂サミットin関西」にも協力必要

**Q. 奥田議員** 民間団体を中心に進められている「子ども食堂(\*)」は、レストランや民家、公共の施設など様々な場所で、食材も寄付や自前など、多彩な形で行われている。こうした取り組みに対して、府としても強力に財政的な支援をすべきだ。また、先月に大阪市内で開催された「子ども食堂サミットin関西(\*\*)」のような取り組みに協力するなど、財政的な支援のみならず、ソフト面の支援も必要である。大阪府はどのような取り組みをしているのか。

(※1 子どもたちに食事を提供する取り組み)

(※2 「子ども食堂」を運営する民間団体が主催となり、同様の取り組みを行う方々との情報交換が目的の会合)

**A. 福祉部長** 「子ども食堂」のような取り組みについて、調査結果を踏まえ、必要に応じて新子育て支援交付金の活用などにより、市町村を通じて子どもの居場所づくりへの支援を検討してまいります。あわせて「子ども食堂サミット」のような情報交換の場が設けられる場合に、府として後援名義を出してバックアップするなど、子どもの居場所づくりが広がるよう努めてまいります。

### 要望 子どもの貧困対策は府も民間と一緒に取り組むべき

**奥田議員** 子どもの貧困対策は喫緊の課題。民間の方々も苦勞しながら「子ども食堂」に取り組まれている。府も「子どもの生活に関する実態調査」の結果を踏まえて、「子ども食堂」への支援策についてしっかりと検討していただくことを切に要望する。

## 浜寺公園の魅力ある公園づくり 指定管理者の具体的な提案について何う

**Q. 奥田議員** 私の地元にある浜寺公園は、日本最古の歴史ある都市公園の一つで、ばら庭園やプールなど施設が充実している。ますます魅力ある公園になってほしいと考えているが、今回選定された指定管理者から次期5年の管理において、浜寺公園に関してどのような提案があり、魅力ある公園づくりに向けてどう取り組んでいくのか。

**A. 都市整備部長** 今回、「賑わい創出につながる収益事業」の提案に加え、「公園の利用促進を図る取り組み」についても数多く提案され、公園内の各所をめぐるマラソン大会や「パラのテラス」の整備、「浜寺まちライブラリー」など、これらの提案を着実に実施することにより、一層、魅力的な公園となるよう取り組んでまいります。

## 芦田川の整備 二級河川芦田川の治水対策

**Q. 奥田議員** 度重なる浸水被害を受けて治水対策が進められてきた芦田川だが、一日も早い工事完成が望まれる。現在の進捗状況とその効果について何う。

**A. 都市整備部長** 芦田川の南海本線上流からふるさと広場付近までの600m区間のうち、下流の400mは上面、地下とも整備を完了し、現在、残る最上流200mは地下のボックス河川の整備を進めており、今年度末の完成を目指している。これが完成すれば河口から芦田川ふるさと広場付近までの区間はこれまでに整備した雨水貯留施設と合わせ、治水目標を達成し、過去の水害時(昭和57年や平成16年)に降った雨に対しても対応が可能となると考えております。

現在の  
工事の進捗  
状況は？

